

予 算 要 求 資 料

令和 4 年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名	新	岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画 改定事業費
-----	----------	--------------------------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境管理課 温暖化・気候変動対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2694)

E-mail： c11264@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,497 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,497	0	0	0	0	0	0	0	7,497
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県では、地球温暖化対策の推進に関する法律 (以下「温対法」という。) 及び岐阜県地球温暖化防止及び気候変動適応基本条例に基づき、県の区域に係る温室効果ガスの排出抑制を行うための施策や中長期の目標を記した「岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画」(以下「計画」という。) を平成 23 年 6 月に策定、平成 28 年 3 月に改定し、平成 29 年 5 月に一部改定し、令和 3 年 3 月に全面改定した。

国では、令和 3 年 6 月に温対法の改正、「地域脱炭素ロードマップ」の作成が行われ、さらに 10 月には国の地球温暖化計画の中期目標が変更 (温室効果ガス排出量の削減を 2013 年度比 2030 年度 26%削減から 46%削減へ変更) になることが予定されている。これらの内容を踏まえ、計画の見直しが必要となっている。

(2) 事業内容

【計画改定業務委託】

計画の改定に係る調査業務 (温室効果ガス排出量の将来推計と中長期の目標達成状況の試算など)

【計画懇談会事務費】

計画懇談会の委員に係る報償費及び旅費並びに事務局に係る旅費、需用費及び燃料費等

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

地球温暖化対策の推進に関する法律において、都道府県は地球温暖化対策実行計画を策定する義務があるため、県負担（10/10）が妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	378	計画懇談会に係る報償費
旅費	144	計画懇談会委員及び事務局職員に係る旅費
需用費	5	消耗品費、燃料費
役務費	19	通信費
委託料	6,867	計画改定に係る調査業務委託料
使用料及び 賃借料	84	計画懇談会会場費
合計	7,497	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

現計画において、中間年度である令和7年度に見直すこととしている。

(2) 国・他県の状況

国の現行計画において、2013年度比で2030年度までに26%削減を目標としているが、改定案において2013年度比で2030年度までに46%削減を目標としている。

計画は全ての都道府県で策定済となっている。

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

県の区域に係る計画改定であり、県負担が妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

- 新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地球温暖化を含む気候変動は世界共通の課題として、地域から積極的に取り組んでいく必要がある。

平成23年6月に策定、平成28年3月に改定し、平成29年5月に一部改定し、令和3年3月に全面改定した「岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画」（以下「計画」という。）は、令和3年6月に温対法の改正、「地域脱炭素ロードマップ」の作成が行われ、さらに10月には国の地球温暖化計画の中期目標が変更予定（温室効果ガス排出量の削減を2013年度比2030年度26%削減から46%削減へ変更）であることを踏まえ、計画の見直しが必要となっている。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R12)	
					達成率	達成率
温室効果ガス削減割合（2013年度比）	22.3% (2018速報)				33% (2030年度)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 気候変動の原因となる温室効果ガスの排出を抑える緩和策と気候変動に起因する影響による被害の防止・軽減するための適応策について、緩和策と適応策の進捗管理等が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 継続すべき事業ではない。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	